

湯屋と下島温泉の泉

湯谷温泉と下島温泉の屋外飲料泉は下呂温泉の新たな楽しみ方を教えてくれます。温泉は一般的に入浴やリラクゼーションのためのものと考えられていますが、安全に飲める温泉水もあります。飛騨小坂地区の旅館の中には湯豆腐、おかゆ、しゃぶしゃぶなどの料理に温泉水を使用しているところもあります。

この 2 つの源泉は控えめな大きさで、器の上に注ぎ口があり、近くに柄杓が置いてあります。注ぎ口から温かいお湯が出てきます。天然炭酸泉で炭酸と鉄分を多く含むため金属的な味わいとほんのり茶色がかかった色味が特徴です。

湯屋温泉には約 400 年前から人々が入浴しており、江戸時代（1603 年-1867 年）の文書にはこの飲料泉が消化器疾患などの病気の自然療法であると記載されています。下島温泉の湯は約 300 年の歴史があります。これら 2 つの地域の湯は少量飲むと効果があると信じられており、下呂を治癒と若返りの地として確立した民間伝承の一部となっています。